

飛躍

HI YAKU

第447号

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日／2025年1月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

若き日に汝の体躯を養え

若き日に汝の智能を磨け

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

Cultivate your thoughts in your early days

Nurture your body in your early days

Develop your intellect in your early days



TOP*NEWS

あけましておめでとうございます
吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト 金賞受賞!



高校吹奏楽部 全日本マーチングコンテストでの様子

新年を迎えて～さらなる改革を目指して～



校長
片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。2025年、新しい年の始まりです。

昨年を振り返ると、剛健旅行は季節を初夏から秋に、場所を嬬恋高原から埼玉県秋ヶ瀬公園、彩湖・道満グリーンパークに移して、5年ぶりに中・高同時開催となりました。高校生から見ると距離が短くなり物足りなかつた人もいたようですが、今回の反省を活かして、来年度の剛健旅行を計画していくたいと思います。研修旅行、建学祭、体育祭、中等部の合唱祭、建学の地 静岡でのオリエンテーション合宿など、

充実した活動が実施されました。ただ、残念ながら近年の人手不足からくるバスドライバー不足のため、高校体育移動授業が実施できていません。高校の体育祭も、雨が降ったら「延期」ではなく「中止」になってしまいなど、綱渡り状態の行事が増えました。そんな状況で今年度予定されていたすべての行事が実施できたのは、奇跡に近かったのかもしれません。現在高校3年生の希望者がカナダ中期留学に行っていきますし、この後2月に中等部3年生の海外研修旅行がオーストラリアで予定されていますが、無事実施できることを願っています。3月には中・高3年生を送る卒業証書授与式が開催されます。中・高3年生の皆さんにとっては、本当にあつという間の3年間だったのだろうと思います。

高校吹奏楽部が3月の全日本アンサンブルコンテスト、10月の全日本吹奏楽コンクール、11月の全日本マーチングコンテストで金賞を受賞しました。さらに中等部吹奏楽部が10月に行われた東日本学校吹奏楽大会に3年連続出場し、銀賞を受賞しました。

こうした吹奏楽部の活躍の他、本校の部活動は頑張り、弓道部がインターハイに、男子バスケットボール部、サッカー部が国体に、中高ダンス部、剣道部が全国大会に、柔道部、剣道部、男子バレーボール部、陸上競技部が関東大会に出場しています。

21年目を迎えたSSH活動ですが、10月26日に行われた成果報告会には、タイから2校、国内のSSH指定校3校、合わせて100名を超える高校生を受け入れ、英語による口頭発表、ポスター発表を行いました。さらに本校の探究活動は成果を収め、9月30日に高校3年生が2年生に向けてポス

ターセッションを実施しました。充実した研究発表が行われ、たくさんの質問に一つ一つ丁寧に解説がされました。探究活動の発表もこれまでの6回の中で、最もレベルの高い研究発表となりました。

秋には、高校3年生の約82%、381名が東海大学への推薦先が決まり、希望の専門分野に進学します。また、これらの生徒のうち、69名が特別奨励となりました。現在高校3年生は、それぞれの進学先に合わせた特別講座を受講しています。

昨年も中等部・高校の学校説明見学会には、たくさんの受験生が来校してくれました。間もなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新入生を4月にはお迎えしたいと思います。

今年も生徒・保護者・教職員で力を合わせ、一歩一步前進していきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

部・同好会活動報告

高校
吹奏楽部

第37回全日本マーチングコンテスト 金賞受賞!

全日本マーチングコンテストを終えて

3年1組 吉田 花奏

11月17日に行われた全日本マーチングコンテストにおいて、金賞を受賞することができました。このような素晴らしい結果が得られたのは自分たちだけの力ではなく、先生方や保護者の方をはじめとしたさまざまな方の協力とサポート、応援があったからです。それと同時に、毎日充実した練習ができていたのは当たり前のことではないと実感しました。この感謝の気持ちを忘れずに、これからの中等部活動に取り組んでいきたいです。

これで今年度の大会はすべて終わってしまいましたが、定期演奏会に向けてより良い演奏・演技を追求して、全部員で協力して作り上げていきたいです。応援をありがとうございました。



部・同好会活動報告

ダンス部

ダンス部 定期公演

3年間の思い

高校ダンス部元部長 3年6組 金子 江海

私たちダンス部は、11月13日に大田区民ホールにて定期公演を行わせていただきました。3年生にとって、この定期公演は引退公演という3年間の集大成であり、3年間憧れ続けた舞台でした。当日は1,000人以上の方が見に来てください、とても嬉しかったです。お世話になった方々への感謝の気持ちを持って最後まで踊ることができました。これからは中等部・高校1、2年生が新しい代としてダンス部を引き継いでいってくれます。引き続き、応援をよろしくお願ひいたします。

最後のメンバー

中等部ダンス部元部長 3年A組 澤井 ももこ

中等部3年生は、女子5人・男子4人のメンバーでした。時に厳しくもある活動の中で衝突することもありましたが、たくさん話し合い、苦楽を共に乗り越えてきたので、このメンバーで3年間続けてこられて良かったと強く感じました。もうこのメンバーで踊ることはないかもしれません、私たちは高校でもダンスを継続しようと思っています。私たちは引退となります、今後とも中等部ダンス部をどうぞよろしくお願ひいたします。



建学記念小論文表彰

テーマ 「人生いかに生きるべきか」

本学園では、創立者・松前重義が掲げた建学の理想を未来へ継承・発展させていく人材の育成をはかるために作文(中等部:2,000~3,000字)・小論文(高等学校:3,000~4,000字)を募集しています。今年度は人生を変えた三つのきっかけについて述べた津田海琉君が、学校法人東海大学松前重義記念基金より奨学金(5万円相当の図書カード)の給付を受けました。

2年9組 津田 海琉

僕は、中学校の先生から「苦手な人とも関わりを持つこと」、母から「嫌なことを先に片付けること」、そして中村文昭著『何のために』から「目標を持つなら、その目標が何のためのものかを考えること」の大切さを学び、これらを通じて人生は目標の意義を模索しながら生きるべきだと考えるようになりました。



第16回 中等部体育祭開催

11月7日、中等部の体育祭が行われました。昨年度までは6月の開催でしたが、今年度は後期の開催になり寒さが心配されましたが、生徒の元気いっぱいのエネルギーもあり、熱い一日となりました。

最後の体育祭

体育祭実行委員長 3年B組 石橋 青空

今回が中等部生活最後の体育祭でした。昨年度までは一委員でしかなかった私が体育祭実行委員長になると思ってもいなかったので、引き受けた時は自分に務まるのかと不安でいっぱいでした。いざなってみてもどうしたらいいのかわからないことが多く、準備を滞りなく進めることができ難しい場面もありました。しかし、クラスメイトや他のクラスの人たちが快く手伝ってくれて、大変だったけれど楽しく準備することができ、実行委員長になつて良かったなと思いました。

また、中等部生になって2年間負けなしの体育祭でしたが、今年度は僅差でA組に敗北。悔しい気持ちとこれで最後かという寂しさで気持ちがいっぱいになりましたが、すべての競技を全力で行うことができたのでとても楽しかったです。残りの中等部生活も悔いのないよう全力で取り組んでいきたいです。



入場行進

最終結果

赤組
738
白組
652

【優勝】赤組 【行進賞】3年B組



準備運動



1年



台風の目



2年



3年



大玉遊び



応援風景



2年



1年
ダンス「クリスタルチルドレン」



2年
背渡りリレー



徒競走



2年



箱リレー



玉入れ

行進賞 3年B組

みんなで勝ちとった行進賞

3年B組 牛田 帆香

私たち3年生は、今年度が最後の体育祭でした。昨年度は一つ上の先輩たちが、一生懸命体育祭を引っ張っていて、「自分たちで作る素晴らしい体育祭」を学びました。今年度は最後ということもあり、3年B組で行進賞を取りたいと考えていました。練習の時から声の大きさも足のリズムもそろっていたので、より他のクラスに負けたくない気持ちが高まっていました。私は、団旗を持つ担当でした。しかし、本番は風が強くて、途中で落としてしまいました。みんなはそろっているのに落としてしまい、失点してしまうのではないかと不安でしたが、最後止まる時にそろえることができたので、良かったです。今年度は競技の方では優勝はできませんでしたが、クラスで行進賞を取ることができ、いい思い出を作ることができました。

優勝した赤組の感想

1年A組 斎藤 希紀

いよいよ待ちに待った体育祭。私は今回7つの種目に出了ので常にグラウンドを駆け回っていました。その中でも、特に印象に残っているのは全学年の選抜対抗リレーです。スタートとともに一斉に走り出すランナー。私は前の人との差を縮めるために一生懸命走りました。先輩方が走る姿はとてもかっこよく、スピード感や全力で走る姿に憧れを感じました。私のチームは4組中2位を取ることができ、とても嬉しかったです。このように、初めての体育祭はとても良い思い出になりました。来年度もたくさん活躍したいです。

2年A組 土屋 文明

今年度の体育祭は、新たに剣道演武や背渡りリレーなどの競技に挑戦し、昨年度とは全く違う良い思い出になりました。そして、無事に優勝することができ、とても嬉しかったです。来年度はまた競技が変わるので、次も練習して勝てるよう頑張りたいです。また、来年度は部活動対抗リレーでも1位を取りにいきたいと思います。来年度も、今年度のような雲一つない晴れた空の下で体育祭ができる事を祈っています。これからもさまざまな場面で努力して、後悔のない中等部生活にすることを心がけていきたいです。

3年A組 吉永 謙

今回は、中等部最後の体育祭でした。練習では、みんな最後だと意識しながら真剣に取り組んでいました。また、競技の練習だけでなく、団旗も協力して作りました。違うクラスの人も手伝いながら、放課後や朝にみんなで作ることで最高の団旗を作ることができました。そして、私は入場行進の時に団旗を持つ役になりました。緊張しましたが、団旗を持つということに誇りを感じながら、良い行進ができたと思います。最後の体育祭で、私たちの担任である石川先生と優勝することができて本当に嬉しいです。



部活動対抗リレー

2024年度学校運営方針

実践目標

「教科の学習」だけでなく、「教科外活動」を積極的に取り組ませることによって、より豊かな人間性を育てる

「教科外活動」の目標として、学習指導要領では、「集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う」ということがうたわれています。そして、学級(ホームルーム)活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動が「教科外活動」として位置づけられています。

本校では、全生徒が経験する主な学校行事として「体育祭」「建学祭」「剛健旅行」「研修旅行」があります。生徒たちは、普段の学校生活においても集団の中で自分がどのように行動すべきかを自然と学んでいますが、学校行事においては、それぞれの行事の目標や、それを達成するための行動が明確になるため、日常の学校生活とは異なる行動が求められます。もちろん全員に求められる役割はその行事に参加することです。しかし、自分のことだけでなく、誰かがリーダー役を引き受け、メンバーをまとめて作業をしたり、一人ひとりが、困ったり、悩んでいる友だちがいれば、互いに助け合ったりしながら、行事の成功を目指して協力することが必要となってきます。このような経験を通して、生徒たちは、集団の一員として求められる行動や責任を身につけていきます。「教科外活動」には、社会生活を行う上で必要な要素がたくさん含まれています。全員が経験する学校行事以外にも、中等部、高校、学年ごとに高輪台在学中に、生徒たちは多くの行事を経験します。

学生の間に、世の中の多くのものを見たり、経験したりすることは、将来、社会生活を送る上でとても大切なことです。本校では、「教科の学習」、「教科外活動」を通して、生徒たちが、将来生きていく上で、指針となるしっかりととした「ものの考え方」を身につけることができるようサポートしています。



2024年度 東海大学学園オリンピック(文化部門) 二次審査(試験)結果発表

12月2日、学園オリンピック(文化部門)の二次審査(試験)結果が発表されました。本校からは4つの部門に9名の生徒が参加しましたが、うち2部門2名の生徒が以下の成績を収めました。この結果を受けて、松浦さんは特別奨励入学制度の適用者となります。

部門別 受賞者

芸術(造形)部門	優秀賞	松浦 董	3年 9組
ディベート部門	努力賞	吹場 悠介	1年 10組

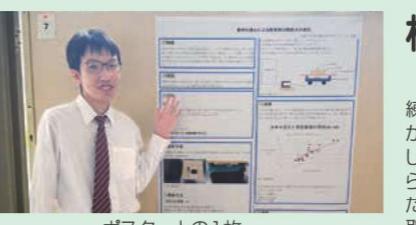


SSH活動報告

10月26日にタイ王国から2校、国内からSSH指定校3校をお招きして、「SSH成果報告会」を開催しました。午前中は東海大学品川キャンパスにて英語口頭発表を行い、午後は本校アリーナにて英語でのポスター発表を行いました。同じ日に核融合科学研究所(岐阜県土岐市)のオープンキャンパスの高校生科学研究室に3年生2名、芝浦工業大学豊洲キャンパスで行われた「高校化学グランドコンテスト」に3年生4名が参加し、研究発表を行いました。11月2日~6日に立命館高校(京都府長岡京市)で行われた「JSSF」に3年生2名が参加し、研究発表と交流会を行いました。11月16日に1年生のサイエンス基礎「フレ課題研究(生物)」において、NPO法人緑のダム北相模の宮村連理先生にご協力いただき、相模湖で森林実習を行いました。11月23日に東海大学付属浦安高校で行われた「世界一行きたい科学広場」にSSH委員の生徒5名が展示解説員として参加しました。

SSH成果報告会(英語口頭発表) 3年10組 吉岡 智也

本校アリーナと品川キャンパスにて行われた成果報告会で、口頭発表ならびにポスター発表を英語で行いました。直後にJSSFを控えていたこともあり、準備があまり十分でない状況で臨むことになった発表会でしたが、自分の思っていた以上にスムーズに発表することができ、質問にもきちんと英語で答えることができました。この3年間を通じて多くの発表を経験してきたが、自分の研究内容を英語で口頭発表するのは初めての経験で、英語でうまく応対できるか不安がありました。しかし研究内容に詳しい方の質問に答えたり、研究の方向性について議論したりするうちに、自分の研究に興味を持ってもらえる嬉しさに変わってきました。この発表会で得た経験を、残り少ない研究、発表に生かしていかたいと思います。



核融合科学研究所オープンキャンパス 3年10組 山下 啓樹

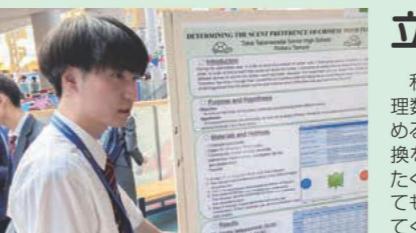
私は核融合科学研究所でポスター発表を行いました。実際にポスターの前に立って発表をしてみると、練習では想定していなかった質問をいただくことが多かったです。そのため質問の回答について悩むことがありました。それらの質問には何か必ず答えるようにして、「わからない」で話が終わらないようにしました。質問にどのように答えるかを悩むのは大変で、心が折れてしまいそうでした。それでも研究所の方からの質問・回答・それを踏まえた質問・これを何回か繰り返していくと、この実験の改善点が固まってきた。つまり質問は自分にとって研究の改善点を見つけるためのアドバイスだったのです。諦めずに積極的に取り組むと、その努力が功を奏すということを学びました。



高校化学グランドコンテスト

3年10組 水越 鈴

私は芝浦工業大学で行われた第19回高校化学グランドコンテストに参加させていただきました。今回の発表会はポスター発表と口頭発表が2日間に分けて行われました。私はポスター発表のみでしたが、たくさんの方に自分の研究を発表することができました。たくさんの大学教授の方や企業の方々に聞いていただき、多くの指摘やアドバイスを受けました。さらに、口頭発表では自分と同年代とは思えないような専門的な研究内容の発表をしており、刺激を受けました。北は北海道から南は鹿児島、さらに台湾とシンガポールの高校生、計102組が参加しており、地域の違いや言語の壁を超えて交流をすることができました。今回の発表会で自分に足りないとこをたくさん発見することができました。とても貴重な体験でした。



立命館高校JSSF

3年10組 戸室 凜太郎

私は立命館高校で開催されたJSSF(Japan Super Science Fair)に参加しました。JSSFとは、海外理数教育重点校や国内SSH校の生徒たちが集い、科学を通じて互いの研究活動を深め、夢を語り、親交を深める場で、2003年から開催されています。今年の参加校は21校で、それぞれの研究を発表し合い、意見交換を行いました。また、ミニゲームやそれぞれの地域の文化交流などを行い、仲良くなれるというイベントがたくさんありました。私は英語が得意ではなく、最初は不安と緊張でいっぱいでした。しかし海外の方たちはとてもフレンドリーで、すぐにその気持ちになりました。また、立命館高校の生徒さんもとても丁寧に対応してください、楽しく参加することができました。いろいろな国の方たちと交流するということは、とても良い経験になったと思います。このJSSFで学んだたくさんのことを、これから活動で生かしていきたいです。



サイエンス基礎(森林実習)

1年10組 高田 謙斗

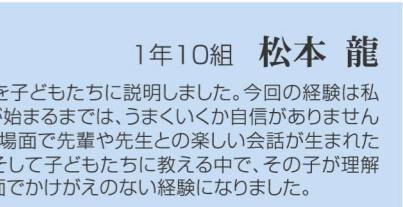
森林実習では、自然の中で直接触れ合いながら学ぶ貴重な経験ができました。特に、樹木の種類や成長過程を実際に観察し、森林がどのように生態系を支えているのかを深く理解することができました。実際に森林に入って、地面を踏みしめ歩くことで、植物や動物の多様性を実感し、環境保護の重要性を強く感じました。また、実習を通じて、木材の利用や森林管理の手法についても学び、持続可能な森林の運営方法を深く理解することができました。今後は、森林の保全に関心を持ち続け、学んだことを活かしていきたいと思います。



世界一行きたい科学広場

1年10組 松本 龍

私たちの展示では、偏光板を使ったステンドグラスの作り方を子どもたちに説明しました。今回の経験は私にとってかけがえのない思い出になりました。今回のイベントが始まるまでは、うまくいかず自信がありませんでした。しかし実際に子どもたちへ教えてあげたり、いろいろな場面で先輩や先生との楽しい会話が生まれたり、とても楽しかったです。充実した良い思い出になりました。そして子どもたちに教える中で、その子が理解できるよう説明を瞬時に考える能力が身につき、いろいろな局面でかけがえのない経験になりました。



生徒会 今期役員紹介

生徒会役員選挙で決まった今期の生徒会役員を紹介します。生徒会役員は次の生徒会役員選挙まで的一年間、高輪台高校・中等部の学校生活がさらに良くなるように力を注いでくれます。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるよう協力していきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 B組 中越 舜皓

副会長 2年 A組 坂本 煌将

副会長 1年 A組 千木良菜都

会計 1年 B組 増田 莉久

書記 1年 B組 佐竹 佑月



左から 坂本君、佐竹君、中越君、増田君、千木良さん

高校生徒会新役員

会長 2年 9組 大高 裕美

副会長 2年 9組 津田 海琉

副会長 2年 10組 八木 綾華

会計 2年 10組 内海多佳音

会計 1年 10組 高木 翔天

書記 1年 1組 矢内 菜

書記 1年 9組 春木 来斗



後列左から 津田君、内海君、春木君、高木君
前列左から 矢内さん、大高さん、八木さん

中等部生徒会会长

2年B組 中越 舜皓

このたび、中等部生徒会会长になりました中越舜皓です。微力ではありますが、皆さんとともに本校のさらなる発展と皆さんの充実した学校生活の実現を目指して、全力で取り組んでいきます。この学校は、部活動・行事のいずれにおいても、生徒が主体的に挑戦し、成長できる素晴らしい環境です。この伝統を受け継ぎつつ、新たな可能性を切り拓いて活動をしていきたいと考えています。私が重点的に考えたいのは、すべての生徒が充実感を持って学校生活を送れるような学校づくりをすることです。そのために、昨年度の生徒会活動で得た知識や経験、反省点を活かし、学年やクラスの枠組みを超えた交流の機会である学校行事の企画運営や学校生活の環境改善にも力を入れ、学校説明会の手伝いなどにも真剣に取り組んでいきたいです。これから皆さんのご協力を得ながら、生徒会会长として責任を持って活動をしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

高校生徒会会长

2年9組 大高 裕美

このたび、高校生徒会会长になりました大高裕美です。昨年度は、生徒会書記を務めておりました。私が生徒会長に立候補した理由は、二つあります。一つ目は、生徒の笑顔を増やしたいからです。生徒会演説で述べたように、建学祭で新たな企画をしたり、行事を活発にしたりして、生徒の皆さんの笑顔がより一層増えるよう生徒会一同努めてまいります。

二つ目は、自分自身を成長させるためです。昨年度、私は人生で初めて生徒会活動を経験しました。1年が経った今、これまでの学校生活や生徒会活動を振り返り、自分は誰かの役に立てる仕事をするのが好きだということに気づきました。生徒会会长になったからには、よりたくさんの人を助け、1人でも多くの人の笑顔にするために努力していきたいと思います。1年間よろしくお願いいたします。

第56回 剛健旅行

5年ぶりの全校開催

今年度の剛健旅行は、5年ぶりに高校生も参加し全校生徒での開催となりました。実施会場も群馬県嬬恋村から埼玉県の秋ヶ瀬公園、彩湖・道満グリーンパークに場所を移し、一新したコースで実施しました。

当時は、前日までの雨も止み、連日続いている寒さもなく、この時期らしい秋を感じられる非常に良いコンディションの中での実施となりました。リタイアとなってしまう生徒もほとんどおらず、紅葉も随所で見られ、生徒たちも楽しそうに歩いていました。

また、チェックポイントでは後援会の保護者の方に、おにぎりとお茶を支給していただきました。

今年度の剛健旅行を実施するにあたり、さいたま市をはじめ関係各所の方々には非常にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

コース全体図



学年だより 中1

初めての体育祭

「体育祭で一番の思い出・印象に残っている競技はなんですか?」
という質問への回答をランキングでお伝えします。

1位

クラス対抗全員リレー

- みんなで心を一つに協力しながら、バトンをつないでいったから。
- 途中でバトンを落としてしまうミスがあったけれど、全員で乗り切ったから。
- 最初は負けていたけれど、途中から追い上げてきて1位になれたから。



2位

台風の目

- 練習の時はうまくできなかっただけで、本番で勝つために、声を掛け合って勝つことができたから。
- 待っている人もクラスを応援していて、一つの目標に向かって頑張ったから。
- 相手に大差をつけて勝てた競技であり、クラスの団結力が強くなったと思うから。



3位

クリスタルチルドレン

- 学年全員で心を合わせて一緒に踊ったから。
- 最初は恥ずかしかったけれど、練習するたびに上手になっていったから。
- 1ヶ月以上前から練習し、努力した成果が出せたから。



学年だより 中2

体育祭

11月7日に行われた体育祭では、各クラスが力を合わせて、最大限の力を発揮することができました。優勝した赤組（A組）も、惜しくも準優勝となった白組（B組）も、思い出に残る良い体育祭になりました。来年度は最高学年としての体育祭になります。今年度の経験を活かして中等部を引っ張ってほしいと思います。

A組 宮澤 歩来

私が頑張ったことは、剣道演武の演目を覚えたことと、背渡りリレーで上の人に支えたことです。徒競走、選抜リレー、ボール運びリレーでは1位を取ることができ良かったです。クラス対抗全員リレーでは、勝つことはできませんでしたが、楽しかったです。3年生は中等部最後の体育祭で気合が入っていて、とてもかっこよく見えました。1年生も中等部初めての体育祭を楽しんでいて良かったです。また、1年生ダンスの「クリスタルチルドレン」を見て、昨年度の自分を見ているようで懐かしく感じました。今年度で体育祭2連勝ができたので、来年度も勝って3連勝したいです。来年度は中等部最後の体育祭になるので、気合を入れて取り組みたいです。

B組 柴田 瑞斗

体育祭を終えて、クラス一丸となって目標に向かって取り組むことの大切さを実感しました。リレーや剣道の練習では、うまくいかないこともたくさんありましたが、クラスメイトと協力し、支え合うことの大切さがわかりました。特にリレーの際にバトンパスがスムーズにいった瞬間は、努力の成果を感じて嬉しかったです。

今年度の経験を活かして、来年度はさらにクラスメイトとの団結力を高め、クラス全体がもっと積極的に参加できるようにしたいです。また、体力やスピードを向上させるために、日々の運動量を増やし、体育祭で一段と活躍できるように努力したいです。来年度も皆で協力してより良い結果を目指し、思い出に残る体育祭にしたいです。

「美しいもの」

国語の授業で、自分の考える「美しいもの」についてまとめました。クラスメイトと意見を交換し、共感し合ったり、認め合ったり、とても有意義な時間になりました。個性豊かなものの中から、いくつかを紹介します。

A組 清水 韶

旅行に行ったときに見える星々

私は旅行に行ったときに見える星が美しいと感じます。私の住んでいる東京からは星が見えません。だからこそ、たまに行く旅行で、雲が一切ない新月という特定の条件で見られる星はとても貴重です。その星々を見ながら、「あの星は何かな」と調べたり、ゆっくりしたりする時間が好きです。

B組 佐々木 駿斗

ゲームクリエイター

いつもテレビを見ていると、新しいゲームの紹介が出てきます。私はプレイする側ですが、世界で有名になるほどのゲームを生み出す人はすごいと思います。特にデザインやキャラクターなど、細かいところまで作ることのできる技術はとても美しいと思います。

A組 高島 龍史

浅草の仲見世通り

仲見世通りは1年生の後期にTokyo Sightseeing Tourで行った場所です。私が美しさを感じた理由は、その人気です。仲見世通りは古くからある有名な観光地で、今でも休日には外国人がたくさん来てとてもぎわっています。私はそんな浅草の街が好きです。

B組 山崎 壮太

嬉しいときの笑顔

私が考える美しいと感じるものは、嬉しいときの笑顔です。たとえば、友達が笑っているときや家族が笑っているときなどです。嬉しいときや面白いときの笑った顔は、心が温まり、私も自然と笑顔になります。

学年だより 中3

最後の体育祭～団旗に願いを込めて～

いよいよ中等部3年生にとって最後の体育祭を迎える。一つ一つ行事が終わっていく中、この行事はみんなで団旗の図案やスローガンを考えたり、ダンスの振り付けを考えたり、行進の練習をしたりと協力する姿が見られました。

A組 清水 大馳

中等部最後の体育祭、今までの中で一番種目が多く、とても楽しい行事になった。体育祭は学校生活の思い出の中でとても印象が残る行事で、今回もたくさんの思い出ができた。特に2年以上も共に過ごした友達とのリレーでは、個人としてはそれほどの活躍はできなかったが、言葉では言い表せない感動がそこにあった。この幸せな思い出を大切に、そしてさらに絆を深めた友達と一緒に3ヶ月、全力でさまざまなことに取り組んでいこうと思った。

B組 宇田川 夏波

体育祭実行委員でもあったので、係の仕事も頑張り、最後の体育祭で例年よりも力を入れて取り組みました。クラス対抗全員リレーは一番最初の走者だったので、スタートダッシュがうまくできなくてとても心配でしたが、後半追い上げてくれて練習よりもうまくいき嬉しかったです。結果的には負けてしまいましたが、みんなの絆の強さや優しさが詰まった体育祭になったと思うので、とてもいい思い出ができました。高校に行ってもみんなで協力して一つの目標に向かっていけるように頑張りたいです。

ユニリーバ・ジャパン株式会社による出前授業～「ダヴ セルフエスティーム・プロジェクト」～

11月15日、中等部2・3年生合同の道徳の授業で、自己肯定感を高めるためにという目的でユニリーバ・ジャパン株式会社の方と、公益社団法人ガールスカウト日本連盟の方をお招きし、「自分らしく、より良く生きる喜び」についてのワークショップがありました。

A組 平山 蓮

主に自分の特徴を見つけるという授業でした。特徴を見つけるのは意外と時間がかかる難しいなと感じましたが、友達から「〇〇が良いと思う」など、自分では気づけないようなことを発見してくれたので良かったです。その書いた紙を交せてランダムで引いて友達を見つける活動があって、あまり話さない人ともコミュニケーションがとれて良かったです。そして、最後には特徴を書いた紙を持って帰ったので、見返そうと思います。この授業は自分を見つめ直す良い機会になりました。

B組 島田 理玖

私はこの授業を受けるまであまり自分の顔の特徴や内面について考える機会が少なく、友達に教えるてもうつ自分はこういうところが良いところなのだといました。特徴を教えてもらうまで気がつけなかったこともあります。自分の特徴を短所と考えるのではなく、長所とみることで自己肯定感が高まり、自分の自信にもつながるので、これからは自己肯定感を高めていこうと思いました。友達にも肯定的に接し、共に自己肯定感を高めていきたいなと思いました。

A組 野口 青央

このような授業を受けたことが久しぶりだったので、集中して参加できました。今まで自分に自信を持つことができなかつたのですが、この授業を受けて少しでも自分に自信を持って、これからも行動できたらいいと思いました。自分の知らない長所を言われると少し恥ずかしいけれど、嬉しいことだと改めてわかりましたし、褒めることも、褒められることも大切だとわかりました。友達の意見を認めてあげるとこんなにも嬉しいと、改めて気づくことができました。






自分の特徴って…?

相手の特徴に気づくためのアクティビティ

自分の好きなところは…?

自分に対する自信を高めるアクティビティ

学年だより 高1

建学祭が行われました

高校1年生にとっては、初めての建学祭でしたが、どのクラスも工夫を凝らし、素晴らしい展示を行うことができました。生徒たちの感想をご覧ください。

01組 阪本 杏樹

1年1組はお客様に楽しんでもらうことを目標に取り組みました。部活動や芸能部門の発表で忙しいクラスメイトもいましたが、積極的に協力してくれました。クラスの協調性や絆を感じ、達成感を得ることができました。

02組 藤井 壮心

初めての建学祭を終えて、私はクラスの団結力が向上したと感じました。なぜなら装飾品の買い出しから片付けまでを自主的に行い、来場者にどのように楽しんでもらうかを話し合ったからです。次のイベントは体育祭なので、この団結力を活かして頑張ります。

03組 平澤 恵旺

初めての建学祭でしたが、一人ひとりが役割分担をして、準備期間もスムーズに行うことができました。また、当日は明るく接客をし、来場者を笑顔にできると同時に自分たちも楽しめました。今回の建学祭でクラスの団結力が高まったと思います。3組のみんな、ありがとうございます。

04組 小山 陽菜

今回、私は初めての建学祭でした。私はクラス建学祭委員となりました。大変なことはたくさんありましたが、最後には強い責任感と達成感を得られました。クラス一丸となり、一つの目標に向かって協力したこと、クラスの絆を高める良い機会となったと思います。

05組 田中 恵

建学祭が始まる前は、皆と話し合ったり、指示を出したりすることが難しく、上手にリーダーシップを発揮できませんでした。しかし、クラスメイトの助けや協力のおかげで、なんとか当日は無事に出店ができ、お客さんにとっても楽しい建学祭にできたと思いました。

06組 稲山 里香

部活動の公演や試合等で不参加生徒の多い中でも、クラスみんなで助け合ったり、教え合ったりして、無事に2日間の建学祭を終えることができました。どうしたら楽しんでもらえるかを考えて実行することの大変さを学べました。

07組 阿嘉 宏明

準備を始めたころはどれくらいの人か来てくれるのか、不安がありました。しかし建学祭初日、不安はなくなりました。多くの来校者や在校生の方が来てくださり、学校の良い雰囲気と建学祭の盛り上がりをいろいろな人に届けられたと思いました。

08組 清水 韶波

私たちがこの建学祭を通して、クラスメイトと一緒に物を作ったり、装飾をしたり、ルールを考えたりして、深く関わることができました。また、接客をしていくうちに楽しくなり、自分の将来を考える機会になったと思います。

09組 大塚 梨温

初めての建学祭で、さまざまな規則がある中で良い展示を作るのはとても難しかったです。部活動で人員も足りていなかったので、本当に大変なことばかりでした。しかし、内装や外装が仕上がっていきうちに、クラスの団結も高まっていき、充実した建学祭にすることができました。

10組 伏谷 祐良

今年度の建学祭で、10組は脳年齢診断を行いました。高校生活初めての建学祭で、わからないことばかりでしたが、クラス全員が良いものにしたいという一つの目標に向かって協力し、素晴らしい展示を行うことができました。来年度の建学祭は、今年度よりもさらに良いものになるよう頑張りたいと思います。









12 TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL HIYAKU

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL HIYAKU 13

学年だより 高2

港区選挙管理委員会による主権者教育

11月11日と18日に1時間ずつ、港区選挙管理委員会のご協力のもと、主権者教育が行われました。これは、港区が区内の高校生に向けて、選挙の意義を伝え、政治への関心を持つきっかけとなるよう行っているものです。1回目の授業では選挙のお話(選挙制度や選挙のながれ)を聞き、2回目の授業では模擬選挙を行いました。テーマは「大規模空地の活用について」でした。生徒たちの感想と様子を紹介します。

4組 小暮 海優

今まで選挙についてあまり深く考えることはありませんでしたが、今回の主権者教育を受けたことで日本の現状を知ることができ、自分も有権者になったら選挙に行って投票したいと思うようになりました。もう少しで選挙権を得られるので、しっかりと政治について関心を持って、適切に情報を集めた上で投票をしたいと思いました。近年は全世代で投票率が低下していて、特に若い世代の投票率が低下しています。そうなると政治家は、選挙で票を得やすい高齢者世代に支持される政策を実施する可能性もあるということから、私たち若者が投票することで日本の政治を大きく変えることができるのではないかと思いました。今までは自分の入れる一票で政治が大きく変わることはないのだから、選挙には行かなくてもいいやという考えがありました。自分たちにとって過ごしやすい国にするには、まず自分の一票を投票して、主権者として考えを示すことが大切だと感じました。

7組 佐藤 涼

私は、今回の主権者教育で選挙管理委員会の方のお話を聞いて、選挙は自分たちの生活に大きくかかわる大事なものだと学びました。また、だからこそ選挙に行って自分の意志を届けることが大事だと考えました。今まではまだ選挙権がないので、他人事のように思っていましたが、模擬投票を行ってみてとても実感がわいたので、18歳にならしきりと自分の意思を届けるために選挙へ行きたいと思いました。そして、選挙がスムーズに行われるためのさまざまな工夫が面白かったです。投票用紙に普通の紙とは違う特殊な紙が使われていることを学びました。折り曲げても元に戻ったり、全然破れず驚きました。

10組 相馬 希美

私は今回の主権者教育の模擬選挙を通して、選挙の意義と若い世代の政治参加の重要性を学びました。特に若い世代の政治参加への意識の低さは、若者向けの政策が提案されにくくなり、政治が一部の人々の利益に偏って不平等なものになってしまう可能性があるため、早急に解決すべき課題であると感じました。また模擬投票で使用した投票用紙はプラスチックでできいて、破れにくく、折り曲げても自然に開くようになっていました。実際の選挙で使用されているものを使って模擬選挙を体験させてもらえたことで、より選挙への興味関心が高まり、選挙権を持ったときに選挙を自分事として捉えて投票したいと思いました。

候補者の演説を聞いています

一人ひとり投票しました

学年の選挙管理委員が開票作業をしています

有効票かどうか確認中

港区職員の方の説明を聞いています

学年だより 高3

最後のスポーツ大会

11月19日(火)本校アリーナにて、高校3年生にとって最後のスポーツ大会が行われました。各競技とも白熱し、より一層クラスの絆が深まりました。生徒たちの感想をぜひご覧ください。

各競技結果

総合優勝	9組	2位 4組	3位 6組
●男子バレー ボール	1位 3組 2位 2組 3位 9組	●男子ドッジボール	1位 6組 2位 4組 3位 3組
●綱引き	1位 9組 2位 6組 3位 4組	●女子ドッジボール	1位 4組 2位 2組 3位 9組
		●女子バスケットボール	1位 9組 2位 4組 3位 7組

9組 本荘 瑞生

クラスのみんなで行う最後の行事で、私たちのクラスは総合1位、2年生の頃と合わせて4連覇を果たすことができました。優勝を目指そうとクラスの絆を深め、男女で応援し合ったことで団結して競技に臨むことができました。最後の行事がとても楽しく、一番の思い出になったので良かったです。卒業までの残り少ない学校生活で、もっとたくさんの思い出を作りたいと思います。

4組 岩井 菜々華

最後のスポーツ大会では、全員で円陣を組み、気合を入れて各種目に臨みました。クラスで賞をもらうことは2年間を通してあまりありませんでしたが、元気が取りえの4組はいつも増して応援にも力があり、男子・女子共に種目別に好成績を納め、準優勝することができます。これまで、さまざまな行事を通して4組の仲は深まっていましたが、このような機会が最後だったと思うと、卒業に近づいていることを実感し寂しく思います。これからそれぞれの進路へ進む3年生にとって、飛躍のある貴重な1日になったと思います。4組で過ごせる残りの時間を1日1日大切にしていきたいです。

6組 山本 桐真

クラス全員が協力して試合に挑み、一緒に勝利を目指した時間は特別な思い出になりました。負けた競技もありましたが、みんなで励まし合いながら最後まで頑張れたことが嬉しかったです。観客の応援も大きな力になり、緊張感と楽しさが交ざった素晴らしい経験でした。また、最後のスポーツ大会で3位という成績を収めることができ、6組での思い出をまた一つ増やすことができました。このスポーツ大会を通して、仲間との絆がさらに深まったと思います。

シュートを決めます

豪速球を投げます

綱引き頑張るぞ

綱引きは大盛り上がりでした

レベルの高い試合でした

1位になりました

3年6組 大庭 美乃さんの作品が国際高校生選抜書展(書の甲子園)で入選しました

今回、国際高校生選抜書展(書の甲子園)という高校生で一番大きい書道の大会に入選することができました。高校生最後の年にこのような賞をもらえてとても嬉しく思います。来年度からは高校生ではなくなるため、参加することはできませんが、これからもいい作品を作れるように励んでいきたいと思います。

佐野 真理子
私心復讐左氏
永念頤安聖
尊夏氏
崇里家
聖樂里
國空世
書院
禮氏
族氏
義之
親陵
中親陵
義之
書院
禮氏
道
佐野 真理子

10 TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL HIYAKU

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL HIYAKU 15

お知らせ

各検定試験実施日のお知らせ

数検(実用数学技能検定) 第2回 2025年1月18日(土)

漢検(日本漢字能力検定) 第3回 2025年1月25日(土)

防火表彰

11月12日に行われた高輪消防署の火災予防業務協力者等表彰式にて、本校が「署長感謝状」をいただきました。これからも火災等の予防に、教職員、生徒で一丸となって努めていきたいと思います。

感謝状

行事 予定

※予定が変更になる場合があります。1月は中等部入試、高校入試の出願受付が始まります。詳しくは本校HPをご覧ください。

January 1月

- 1日(水) 元日
- 6日(月) 新春懇親会
- 7日(火) 朝礼・短縮授業
- 月曜の授業日
- 12日(日) 学校説明見学会⑥(中等部)
- 13日(月) 成人の日
- 14日(火) 校医相談日⑨
- 15日(水) 専門医によるカウンセリング⑦
- 18日(土) 数学検定②
- 22日(水) 高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)
- 23日(木) 高校推薦入学試験合否発表日(Web)
- 25日(土) 漢字検定③
- 27日(月) 生徒による授業評価アンケート④
- 28日(火) 卒業試験(中3:~30日)
特別時程(中1・2、高校:~30日)
- 31日(金) 特別講座終了(高3)

February 2月

- 1日(土) 中等部第1回入学試験(生徒自宅学習日)
- 2日(日) 中等部入学試験合否発表(web)
- 3日(月) 中等部第2回入学試験(生徒自宅学習日) マナー講座(中3)
- 4日(火) 中等部入学試験合否発表(web)
- 5日(水) 中等部第3回入学試験(生徒自宅学習日)
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 6日(木) 中等部入学試験合否発表(web)
- 7日(金) 朝礼・月曜の授業日 答案返却(中3)
- 8日(土) 4眼カット
- 10日(月) 高校一般入学試験(生徒自宅学習日)
- 11日(火) 建国記念の日
高校一般入学試験合否発表(web)
- 13日(木) 火曜の授業日
- 16日(日) 新入生制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦・付属)
- 17日(月) 海外英語研修旅行(中3:オーストラリア ~26日)
- 18日(火) 校医相談日⑩
- 19日(水) 専門医によるカウンセリング⑧
- 22日(土) 生徒自宅学習日
- 23日(日) 天皇誕生日
新入生・保護者登校日(中等部) 新入生制服採寸・教材販売(高校一般)
- 24日(月) 振替休日
後期期末試験(中1・2:~27日、高1・2:~28日)
- 25日(火) 生徒休業日(中3:~28日)

編集後記

誰が名付けたのか、地球上には「世界三大がっかり名所」という不名誉な称号を与えられた観光スポットがあります。小便小僧(ベルギー)に人魚姫の像(デンマーク)、そしてマーライオン(シンガポール)がよく知られていますが、実際の口(イタリア)やノートルダム大聖堂(フランス)などが加わることもあります。ただ、これらの前で“がっかり”することができるのではなく、実際に現地を訪れて自分の目で見た人だけ。先月、付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行が催行されましたが、本校から参加した12名の生徒たちはどう感じたのでしょうか? (の)

クリスマスツリー点灯式



東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>